

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年7月24日】第174号



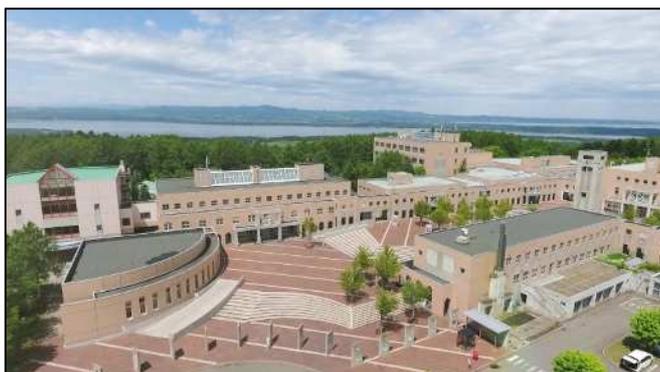
水泳学習も無事に

開校初年度の2019年度、1年生が水泳学習をして以来、2020年度、そして2021年度は新型コロナウイルス感染防止のため、農大稲花小のプールは使われないうままでした。2022年度はようやく全学年での水泳学習が行われましたが、水温や気温などの事情から1年生、2年生、そして4年生は2回、3年生は3回の実施でした。今年は、暑さのために実施を見合わせた日もありましたが、結果として1年生と3年生は4回、2年生、4年生、そして5年生は3回の水泳学習を実施することができました。水泳学習では、長く、早く、あるいは恰好良く泳ぐことが目的ではなく、まず誰もが水に慣れ、安全について理解することが最初の目的だと考えています。一方、忘れ物があったり、健康調査(検温など)が不十分だったりしたため、見学となった子どもが毎日いたのは残念でした。水泳学習だけではありませんが、何でも保護者任せの子どもは、いつまでたっても成長できないでしょう。それぞれの子どもの発達段階に合わせ、自分でも準備ができるように見守ってまいりましょう。

北海道オホーツクキャンパス宿泊学習説明会(オンライン)

7月19日(水)、宿泊学習の説明会をオンラインで実施しました。引率予定の担任団、主任、校長のほか、東京農業大学生物産業学部長、同学部長補佐、食香粧化学科長、学部事務次長にもご多用の中ご参加いただきました。宿泊学習の目的、日程、持ち物などについての説明を行い、保護者の皆様のご理解を頂くことが目的です。5年生の子どもたちは事前学習を重ねており、9月に行われる宿泊学習は実り多いものになることでしょう。また、7月18日(火)には北海道オホーツクキャンパスから送っていただいたフレッシュな和薄荷に触れてその香りを楽しむなど、宿泊学習への期待が高まっています。

なお、本校児童の網走市を訪問は、7月20日(木)の同地網走タイムスに「創始者榎本翁の理念を 実践 網走を訪れて宿泊学習 東農大稲花小 9月に3泊4日で」として報じられました。5年生の子どもたちが今まで学んで身に付けてきた「10の能力」を発揮し、友だちと共にさらにその能力を伸ばすことを期待しています。



東京農業大学
北海道オホーツクキャンパス

中等部説明会

7月21日(金)の終業式後、東京農業大学第一高等学校・中等部説明会を、幸田論昭和校長と紙谷知行教頭をお願いし、一高・中等部校長室よりオンラインで3年生保護者を対象に行いました。中等部の理念や教育方針、生徒の特長や様々な活動についてお話をいただき、教職員が一丸となって教育に取り組んでいる様子や、生徒が様々な活動に活発に参加している様子を知ることができた1時間でした。

中でも「共創し、新たなステージへ」を新たなスローガンにしているだけに、一高・中等部では「共に」という言葉を大切にしていることが伝わってきます。中等部を目指す農大稲花小の子どもたちにも、友だちと共に学ぶ毎日、保護者の皆様にはわが子が学級や学年の子どもたちと共に育つという理解を、大切にしていきたいと思っています。

1学期の終業式

農大稲花小は7月21日(金)、無事に1学期の終業式を迎えました。朝の会ではまず、校内テレビによる終業式がありました。また、この日、農大稲花小の成績表「みのり」が担任教員から一人一人の児童に配られました。得意なところはさらに伸ばし自信をつけてほしいですし、苦手なところはゆっくりでもいいので取り組むことが大切です。そして習ったことを身に付けるだけでなく、本校で掲げる「10の能力」を伸ばすことが、一生の間、学び続け、伸び続ける子どもになるために必要だと考えています。ご家庭でもまずは1学期の子どもたちのがんばりを大いに褒めていただきたいと思っています。

なおこの日、大きすぎる、あるいは重すぎる荷物を持ち帰る子どもたちがいました。少しずつ分散して持ち帰るように指導をしておりましたが、指導が行き届かないところがあったと考え、次学期末の荷物の持ち帰りには安全を第一とし、一層の配慮をいたします。

夏休みの過ごし方

農大稲花小では、夏休みなど長期休暇中に課題、いわゆる「夏休みの宿題」を課すことはしていません。長期休暇は、各児童が苦手なところを克服する一方、得意なこと、興味のあることにはとことん取り組み、調べたり体験したりして伸ばしていく期間、また家族・親せきや友だちと楽しく過ごしたり、心身を休めあるいは鍛えたりする期間であると考えているからです。夏休み後にそれぞれの子どもが、何かをやりとげた満足感や自分自身の成長を実感できることを願っています。

とはいえ、夏休み後に、学力が下がったり、生活習慣が崩れたりすることがあれば、それは好ましくありません。毎日、家族とともに規則正しく健康的に生活するとともに、一定の時間は机の前に座り、自ら、あるいは、保護者とともに立てた計画に従って勉強をする習慣を保たせてください。既習事項を定着させ、習熟させることは、2学期以降の学習のために必要です。

子どもの発達あるいは理解の程度に合わせた保護者のご支援の下、子どもたちが元気で2学期の始業式を迎えることを楽しみに待っています。

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子